

領収書



日付: 2023年1月06日
領収書番号: R-230106430355

長谷川 泰彦 御中



〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥3,806-

但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品概要 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
230106430355-01	チラシ・フライヤー,A4,両面カラー,光沢紙(コート),標準: 90kg	1,200部	受付日確定後 5日以内	¥3,460
	注文内容:		商品:	¥3,460
	注文合計:			¥3,460
	消費税:			¥346
	ご請求合計金額:			¥3,806
	お支払い方法:			銀行振込

ご利用明細

三菱UFJ銀行

ご来店いただきありがとうございます。

このご利用明細は必ずお持ち帰りください。

年月日	取扱店番	お取引内容	
050106	0704153	お振り込み	
受付通番	銀行番号	支店番号	口座番号
0088			
*****			お取引金額
*****			¥3,806*

お取扱い できない場合	残高		
事域.07	税込手数料374*	おつり	¥6*
三井住友銀行 ベイサイド支店 普通 [REDACTED] [REDACTED] ハセカワヤスヒコ様 [REDACTED]			

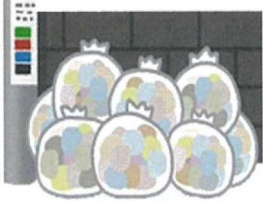
お振込先・お受取人 ご注意

3806 + 374

わが町の未来に向けて！！

Vol.1/No.2

これまでの議会一般質問 pick up



質問：宅地開発指導要綱における小規模事業でのゴミ集積場について、町内と事業者との協議が整わない状況でも建築可能となっている。地域住民とのトラブル回避に向けた同意の必要性についてはどう考えるか。また建設敷地内に設置するゴミ置き場に地域住民の利用も可能とする但し書については協議の状況により選択可能な対応ができないか。

答弁：都市計画課としては、建築基準法に関する許認可の権限がないため、また同意自体が行き過ぎた規制と考えられること等の点から、建築計画報告書は協議内容の把握にあることから同意は必要ないと考えています。

環境課としては、ゴミ集積場の設置や利用については、町内と事業者との同意を必要と考えています。「建築事業等に伴うごみ集積場報告書」の但し書きについても見直しを検討していきます。



質問：上水道の水道料金に計上されることなく漏水などで消えていく影響金額は年額約1億4百万円に上っている。漏水対策など含めた水道事業の安定化に向けた取り組みはどう考えているか。

答弁：従来の漏水調査方法に加え、新たにセンサーを設置する方法を導入し、漏水発見の精度が高い効果的な方法に取り組んでいます。また計画中の10年間に6億円増額し、合計48億円分の設備投資として漏水調査や修繕工事に重点的に投資し、施設の長寿命化や更新投資を継続して施設の老朽化を抑制していきます。



市議会議員の定数が
20人から18人に
削減案が可決されました

現在議員定数は20人のうち1人の欠員で、19人で4年近く問題なく議会運営が行われてきました。また犬山市と同規模の44自治体と比較して6番目に多い数であり、議員一人当たり現状算定人口約3800人よりやや厳しく考えて4000人として計算すると18人(18.2)となります。以上より、定数2減に賛成しました。

通学路や皆さんの近くに危険な
ブロック塀はありませんか！



質問：大阪北部地震でブロック塀が倒壊し、通学中の児童生徒が犠牲になりました。市は小学校区内の点検と基準に適合していないブロック塀の箇所数を把握し、所有者へポスト投函で安全対策に向けた案内やブロック塀等の取り壊し補助制度も紹介しているが、対策があまり進んでいないと思われる。安全対策を進めるうえで、他自治体でも行われている戸別訪問での啓発と補助制度の説明をするなど、基準に適合していないブロック塀への対策と補助制度の充実を進める必要があると考えるが、どのように進めようとするか。

答弁：ポスト投函ではなく直接訪問での個別面談では一件当たりの時間が増大し、点検が実施できた範囲をしぼる必要性が生じることになる。したがってできるだけ多くの件数を点検し対象区域を拡大しながら多くの所有者に啓発することが重要と考えています。ブロック塀等の安全対策に係る補助制度は、高さ1mを超える塀の除去する場合、撤去費または延長1mあたり1万円を乗じた額のいずれか少ない額の2/3、一敷地当たり上限20万円の補助制度となっているが、より多くの市民に活用されるよう制度の見直しを検討しています。

坂下地区のコミバス停の位置が変わりました



関係町内会と土木常設委員との協力連携により令和4年10月に緑道内に変更・運行されました。

質問：ライン大橋から四日市交差点間の2か所のコミュニティバス停留所は、バス路線が坂下地区の外周を回っており、地域住民の利便性が悪く、待機スペースが狭い。また井堀町付近のバス停は、交通量の多い堤防道路への取付け道路の傾斜部に設置され、利用者目線に沿っているとは言えない。利用者の安全を考え、状況の改善を図るため、ライン大橋～四日市交差点間において、尾張広域緑道へのバス路線の見直しと、バス停の変更はできないか。

答弁：尾張広域緑道へのルート変更の検討課題は、周辺住民の同意が前提となります。尾張広域緑道の課題としては、道路幅員が狭く、対面通行等の点から、バス停の場所や乗降時の安全性が考えられます。道路所有者の名古屋上下水道局との調整も必要になってくると思います。路線やバス停の見直しは、路線全体の運行時間に影響がなく、安全性や道路規制等の法的な面など、内容に応じて対応を進めていきます。



地域の皆さんとの意見交換会を開催しています（不定期）
（会場）
・上野学習供用施設
・犬山西ふれあいセンター



犬山西地区の【若者会議】を開催しました！
R4年5月21日
会場：犬山西ふれあいセンター
テーマ：これから犬山は俺たちが創る！

今後も開催いたします！地域の皆さんの声と共に住みたい街に取り組みます！